

ヒト由来のプロテインキナーゼCδアイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0623

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達路によって細胞内で活性化されます。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリビッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリビッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名

PRKCD; プロテインキナーゼC、デルタ; プロテインキナーゼCデルタ型; ALPS3; CVID9; MAY1; PKCD; nPKC-デルタ; EC 2.7.1.37

製品情報

種

人間

由来

バキュロウイルスに感染した昆虫細胞

形態

緩衝された水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、100 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。

EC番号

EC 2.7.1.37

分子量

mol wt 74-79 kDa by SDS-PAGE

純度

>95% (SDS-PAGE)

代謝路

アルファシヌクレインシグナル伝達、特定の生物系; アルファ6-ペータ4インテグリンシグナル伝達路、特定の生物系; アポトーシス、特定の生物系; 細胞タンパク質のアポトーシス切断、特定の生物系; アポトーシス実行段階、特定の生物系; B細胞受容体シグナル伝達路、特定の生物系; Ca²⁺依存性イベント、特定の生物系

機能

ATP結合; カルシウム非依存性プロテインキナーゼC活性; 酵素活性化因子活性; 酵素結合; インスリン受容体基質結合; 金属イオン結合; 非膜貫通型プロテインチロシンキナーゼ活性; ヌクレオチド結合; プロテインC末端結合; プロテイン結合; プロテインキナーゼ活性; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性

単位定義

1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKCイプロシン基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法

-70°C